

ファラデーに魅せられて(9)

「ファラデーの自然観と仮説」

日時：令和5年11月29日(水)

14:00~15:00

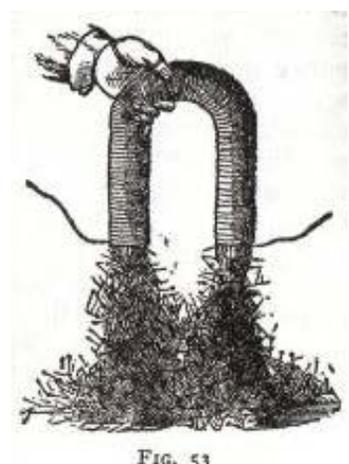
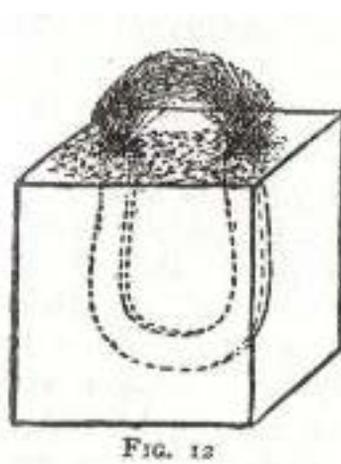
講師：金児 紘征 氏(秋田大学名誉教授)

会場：秋田大学大学院国際資源学研究所
附属鉱業博物館 講堂

〒010-8502 秋田市手形字大沢28-2 電話 018-889-2461

(聴講無料 事前申込不要)

ファラデーは敬虔なキリスト教信者であり、聖書に基づいた自然観を抱いていた。神が宇宙を創生し、自然の法則は神の手によって創造されたと信じていた。そして、その仕組みを解き明かすことを自らの使命とした。光、電気、磁気は互いに依存関係があるという仮説を立てて実験によってその相互関係を解明した。



マイケル・ファラデー
(1791-1867)

M. Faraday: The Forces of Matter(1860)